

新規就農者 諫早市鷺崎町 佐藤裕介さん

今回紹介するのは、諫早市鷺崎町で施設いちごを栽培している佐藤裕介さん（31歳）です。

裕介さんは脱サラ後、プログラマーを目指して専門学校入学を考えていましたが、コロナ渦で閉校！その時、いちご栽培をしている叔父さんの手伝いをするようになりました。裕介さんの家は農家ではなく、農業に関わったのはこれが最初でした。

いちごの収穫体験に来た子供たちの笑顔に触れ、収穫の喜びを感じ、農業という職業に興味を持つようになったそうです。

それから、県新規就農相談センターの技術習得支援研修に応募し、令和3年度第1期生として1年間の研修を終えました。基礎研修後10か月間の農家派遣研修では、栽培の難しさや収穫の喜びを

体験することができました。研修後、国の補助事業（産地パワーアップ事業）を活用して23aのいちごハウスを建設！独立自営のいちご栽培を開始し、4年目を迎えました。裕介さんの就農後の経営は順調で、「農業は、やりがいがあっておもしろい！就農当初のビジョンに向かって走っている。農業の新規参入者として、これから農業を始める人達のモデルとなってその魅力を伝えたい。今は両親の手伝いを受けているが、今後は雇用を増やして、本当の意味で自立した経営者となることを目指す！」と、力強く語ってくれました。

来年は規模拡大を計画している裕介さん！

次代の農業を背負って立つ、前途有望な若き担い手です。



佐藤 裕介さん

管内高校生を対象に地域循環人材育成事業視察研修を開催しました！

西海事務所

令和7年10月15日、管内の高校生を対象に地域循環人材育成事業視察研修を開催しました。

諫早農業高校20人、大村城南高校11人、西彼農業高校5人が参加し、「快適で儲かる農業」をテーマに、いちご新規就農者のリースハウス（環境制御機器）、白崎基盤整備地区で大型機械を導入できるみかん園、(有)大西海ファームでは作業管理と牛の行動を見える化できるICT機器活用事例について、視察研修を行いました。

地域で頑張っている先輩農業者や大規模な農業法人の取組を学ぶことができ、大変好評でした。今後、農業をやりがいのある仕事として考え、地域に根付いた担い手となることを期待します。



いちご新規就農者のリースハウス



白崎基盤整備地区のみかん園



(有)大西海ファームの牛舎

令和7年度長崎県立農業大学校2年生農家等派遣研修が開催されました！

全 域

農大2年生の農家等派遣研修が、令和7年9月24日から10月22日まで西海地区、9月25日から10月23日まで県央地区で実施されました。

受入式、集合研修、終了式に全員が出席し、大きな事故もなく充実した研修が行われました。

集合研修では、①各学生から研修状況報告、②県央振興局盛高課長から県央地域農業の概要説明③2人の学生を受け入れてくださった(有)シュシュの山口専務から経営概要等説明いただき、研修中の学生もスライドを交えて報告をしてくれました。また、トマト生産者の藤崎さんハウスで、現地研修を行いました。そこで研修している学生からも説明を受けました。皆さん久々に顔を合わせ、楽しく有意義な研修になりました。

研修初日は緊張していた14人の学生でしたが、

終了式では研修先への感謝のことばや研修で学んだ内容等を立派に発表し、1ヵ月間の成長を感じ取ることができました。

この研修で得たことを卒業後のそれぞれの進路で活かしてくれることと思います。



『集合写真でガッツポーズ』